

CN会ニュース

令和8年1月26日発行
看護部教育 CNの会 No.3

令和7年8月29・30日横浜にて、第27回日本褥瘡学会
学術集会が開催され、当院から4名が参加しました。

2040年を見据えて、褥瘡の視点からも、多職種の協働
が必要であることを改めて学びました。

医療や介護を必要とし、褥瘡発生の
リスクがある方に、その人らしく生活
ができる療養環境を提供したい・・・
そのためには多職種協働が必要です。



出典:平成28年3月地域包括ケア研究会報告「地域
包括ケアシステムと地域マネジメント」



その人らしく生活するために・・・

医療機器・福祉用具の活用もそのひとつです。褥瘡予防用のマットは、療養者と
介護者の負担が軽減できるように研究されています。



例えば、マットが自動で圧を分散してくれたり、リモ
コン部に体圧が表示され、しっかり体圧が分散され
ているか、見ることができます。

病院の中だけ
でなく、患者さん
の療養の場でも
褥瘡予防につい
て考えていきた
いです。

